

事前評価調書

I 事業概要																																							
事業名	農業農村整備事業（排水施設保全対策事業）																																						
地区名	あま 海部地区																																						
事業箇所	あいさい まちかた 愛西市町方町																																						
事業のあらまし	<p>海部応急ポンプ管理センターは、愛西市の北西部に位置し、1977年に造成され、想定を超える豪雨や農業用排水機場の故障など予期せぬ事態が生じた場合に緊急排水ポンプを市町村等に貸し出し、可能な限り地域の湛水被害を防止・軽減し、地域農業の安定化を図っている。</p> <p>しかしながら、造成後40年以上経過し、近年の台風や豪雨による水害の激甚化・頻発化、河川の氾濫による浸水想定エリアの拡大及び施設の老朽化や耐震性不足の判明により、本来の機能が発揮できない恐れがあることから、早急な対策が必要となっている。</p> <p>こうしたことから、海部応急ポンプ管理センターを改修し、施設の浸水被害等による機能停止を回避し、防災安全度の向上及び地域農業の安定化を図る。</p>																																						
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>海部応急ポンプ管理センターを改修し、施設の機能を確保する。</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																																						
事業費	事業費	内訳																																					
	8.5億円	■工事費7.5億円、■用補費0.5億円、■その他0.5億円																																					
事業期間	採択予定年度	2021年度	着工予定年度	2022年度	完成予定年度	2024年度																																	
事業内容	海部応急ポンプ管理センター 1か所																																						
II 評価																																							
①事業の必要性	1) 必要性	海部応急ポンプ管理センターは、1977年に造成され、設置後40年以上経過し、近年の台風や豪雨による水害の激甚化・頻発化、河川の氾濫による浸水想定エリアの拡大及び施設の老朽化や耐震性不足の判明により、本来の機能が発揮できない恐れがあることから、早急な対策が必要となっている。																																					
	判定	A	<p>A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>海部応急ポンプセンターの機能を確保するため、老朽化した建物の更新及び耐震対策、浸水対策が必要である。</p>																																				
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="4">8.5</td> <td>8.5</td> </tr> </tbody> </table>							2021	2022	2023	2024	計	工種 区分	調査・設計	←→					用地補償		←→				工事		←→		→		事業費（億円）		8.5				8.5
			2021	2022	2023	2024	計																																
	工種 区分	調査・設計	←→																																				
用地補償			←→																																				
工事			←→		→																																		
事業費（億円）		8.5				8.5																																	
2) 地元の合意形成	市町村等から緊急排水ポンプの貸し出し要望があり、地元の合意形成が図られていると考えられる。																																						
判定	A	<p>A：事業計画の実効性が期待できる。</p> <p>B：事業計画の実効性が期待できない。</p>																																					

		【理由】 円滑に事業を実施できる環境が整っており、計画の実行性が確保されている。
Ⅲ 対応方針		
事業実施が 妥当である	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。	
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容		
■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/> 対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 施設の機能を確保…老朽化した建物の更新及び耐震対策、浸水対策の完了		